

コンゴ(共)月例報告
2017年2月

【ポイント】

●仏ボロレ社は、同社が運営権を有する、ポワント・ノワール自治港コンテナ港に対して、5年間で1500億CFAフラン(2.3億ユーロ)の投資を行う旨発表した。

◎特にソースが明記されていない場合は、「Les Dépêches de Brazzaville」、「ICI BRAZZA」、仏通信(AFP)及び仏ラジオ国際放送局(RFI)による

1 内政:

17日、ブラザビル刑務所にて、マルセル・ンスル元国家安全委員会副事務局長が死亡した。同副事務局長は「反乱」及び「武器の不法所持」の罪で、2014年9月から収監されていた。オコ共和国検事は心臓・呼吸器に問題がある可能性を指摘したが、同氏の弁護士と野党は調査を実施するよう求めている。

2 外政:二国間

(1)仏

2日、仏政府はクンバ国民議会議長に対し、国民議会で扱った公共事業に対する「公的資金の洗浄・横領の疑い」で司法手続きを開始した。

(2)バチカン

1日、パロリン・バチカン国務長官は、サス・ンゲソ大統領同席のもと、ムアンダ首相との間で合意覚書(外交、政治、社会経済、社会文化、科学、保健、教育)を署名した。

(3)レバノン

6日、バシール・レバノン外務大臣は、ブラザビルに24時間滞在し、サス・ンゲソ大統領、ムアンダ首相、ガコソ外務・協力・在外コンゴ大臣と会談し、レバノンが知見を有する商業、建築分野における二国間協力の強化につき合意した。

3 経済

(1)仏企業の進出

17日、仏ボロレ社は、同社が27年間(2009年開始)の運営権を有する、ポワント・ノワール自治港コンテナ港に対して、5年間で1500億CFAフラン(2.3億ユーロ)の投資を行う旨発表した。取扱いコンテナ量は現在の60万個から100万個に増加する。

(2)中国企業の進出

17日、ムアンバ首相、マトンド森林経済・持続的開発・環境大臣は、ファン中国大使とともに、ブエンザ県にて、中国企業FLグループ社のルディマ天然樹脂工場を視察した。同社は既に2200トンを中国へ輸出済。現在の製造量は月220トンであり、今後は600トンを目指す。

(3)印企業の進出

25日、コンゴ(共)国民議会は、インド輸出入銀行による借款550米ドル(金利1.75%、償還期間25年、据置期間5年)を承認した。本借款は、ニアリ県にて新規のセメント工場を建設するもの。

(1)アフリカ開銀による中小企業支援

20日、ムガニ中小企業・手工業・インフォーマルセクター大臣は、アフリカ開銀との共同事業である中小企業・投資環境改善事業、森林・木材セクターのガバナンス改善にかかる事業を発表した。総事業費は5年間で2.5兆CFAフラン(3.8億ユーロ)。